

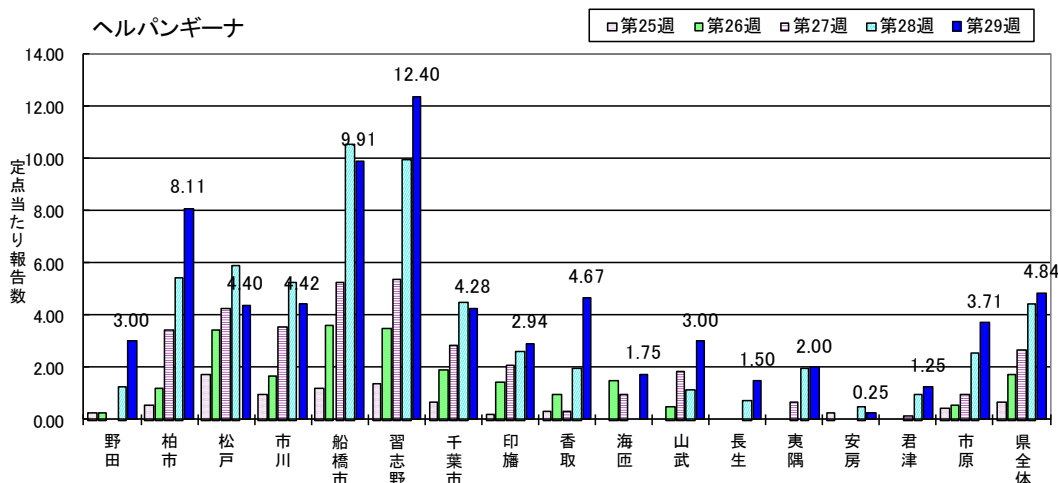
### 【今週の注目疾患】

#### ヘルパンギーナ

2016年29週の県全体の定点当たり報告数は、28週の4.45から増加し4.84となった。6週続けて増加し、夏季に乳幼児を中心に流行するため<sup>1)2)</sup>、今後の発生状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中10保健所管内で増加し、習志野(12.40)、船橋市(9.91)、柏市(8.11)で多い。

年齢群別では、1～2歳が多く45.5%を占めていた。

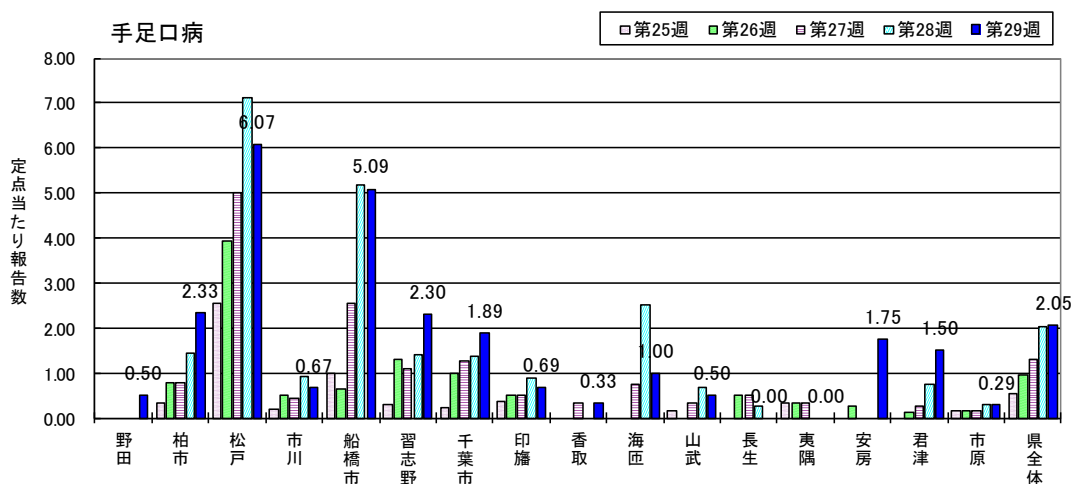


#### 手足口病

2016年29週の県全体の定点当たり報告数は、28週の2.02から増加し2.05となった。9週続けて増加し、夏季に乳幼児を中心に流行するため<sup>1)2)</sup>、今後の発生状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中7保健所管内で増加し、松戸(6.07)、船橋市(5.09)、柏市(2.33)、習志野(2.30)で多い。

年齢群別では、1歳が最も多く24.0%を占めていた。



#### 参考

- 1) 2012年改訂版保育所における感染症対策ガイドライン(厚生労働省)
- 2) 学校において予防すべき感染症の解説(文部科学省)